

街暮らしの新たな魅力を見つけるために

## 街なかで自分らしく暮らす人にお話を伺いました。



### 山路 健造さん

認定NPO法人 地球市民の会  
タイ・スリランカ事業／奨学金事業担当

#### Profile

地球市民の会

1983年設立の老舗NGO。「世界中すべてのものの幸せを自分の幸せと感じられる人=地球市民」を広げるため、国際協力や国際交流、日本国内の地域づくりなどに取り組む。国際協力としては現在、タイ、スリランカ、ミャンマーで活動を展開。ミャンマーでは現地事務所も置き、化学肥料を使わない循環型農業（有機農業）の普及や、高校生向けの寮の運営などを実施。1990年から続けてきたタイの奨学金事業は、同国の経済発展に伴い2017年度いっぱい終了を決め、これまでに3451人を経済支援してきた。（☎0952-24-3334 佐賀市高木町3-10）



## 街に住みながら海外と佐賀を繋ぐことで、賑わいにも繋げる

「こくさいきょうりょくって何？」

決して一般的ではない国際協力。どんな仕事なのか理解いただければと思います。筆を執りました。この仕事を説明するには、まず大分市出身の私がなぜ佐賀の街なかで暮らしているか、振り返りたいと思います。

もともと私は新聞記者でした。博多祇園山笠体験取材や福岡・筑豊地区の勤務を経て、2011年5月、異動したのが佐賀。佐賀では、春秋航空上海便第1便に乗ったり、県政担当をしたり、ノリ漁船の同行取材をしたりと、佐賀中を飛び回っていました。そんな折に出会ったのが、国際協力や国際交流をする地球市民の会です。ミャンマーの貧しい農村部で教える有機農業、中韓の大学生を佐賀に招いた交流事業…。留学生が半分という大学を卒業し、在住外国人の人権問題を学び、世界中に友達ができるなかで、「国籍や民族を超えて『人をヒトとして好きになる』社会をつくりたい」という思いを抱いて選んだ記者の仕事。しかし、自分自身が「当事者」ではなく、地球市民の会の活動を客観的に取材する日々に、疑問を感じていました。そんなとき、当会関係者から掛けられた言葉。「伝える側よりも、国際協力のプレーヤーになりたいんじゃない?」一私を国際協力へ駆り立てたきっかけでした。2014年2月で新聞社を退職してJICAの青年海外協力隊に応募。フィリピンで2年間、有機農業の指導やごみ処理などに従事しました。選挙の影響で、フィリピンでの仕事は思うようにいかずつらい思いもしましたが、2016年10月に帰国。すぐに現在の担当の求人が出たので応募し、今に至ります。

肩書は「タイ・スリランカ事業／奨学金事業担当」。メインの仕事は、タイ、

スリランカ、ミャンマーに奨学金を送るための日本での寄付集め。里親さんとして支援してもらい、生徒の学費や文房具代となる奨学金を送っています。

そのほか本年度はタイの新規事業として、柳川高校に留学するタイ人高校生のホームステイ受け入れ事業を実施します。彼らは、生活する寮が夏休みなどの長期休暇には閉鎖され、帰国を余儀なくされていました。渡航費もかかるし、帰国するとせっかく覚えた日本語学習がリセットされる…。そこで日本に残れるシステムができないかとホームステイを企画しました。ただ、40日間は長いので、インターンとして企業のお手伝いをする代わりに、3食と寝る場所を提供してもらう仕組みにしました。留学生たちは県庁近くのヒューマンアカデミー日本語学校で日本語を学びますし、週末は交流イベントも。今夏は街なかでタイ人を見かけることも増えるでしょう。

もはや、第二の故郷となった佐賀市。直接的な街の活性化に取り組む仕事ではないかもしれません、海外と佐賀をつなぐことで、結果として街にぎわい創造につながる。そんな仕事を目指しています。よそ者の私を温かく迎えてくれた、佐賀の皆様への恩返しになると信じて。ちなみに佐賀は、老若男女問わず、自分ができることでほかの人を助けようという方が多い印象を持っています。だからこそ、NPOなどCSO（市民社会組織）が多い所以でしょう。おかげで一人暮らしの私の生活を心配し、多くの方がご飯を持たせてくれ、体重増はフィリピン生活のせいにするわけにもいかず…。隣の古賀空手道場に通い、ダイエットに励む日々です（笑）。



### 街なかかわらばん INFO ごあんない

ご意見・ご感想、お問い合わせはコチラへ

### 街なかかわらばん 編集室

〒840-0826 佐賀市白山二丁目7-1 エスプラッツ2F  
[特定非営利活動法人まちづくり機構ユマニテさが内]

TEL 0952-22-7340  
FAX 0952-22-7346  
MAIL kawaraban@humanite-saga.com

今までいろいろな方のインタビューをしてきましたが、今回は初の外国人。しかも日本語学校の学生。私の想像以上に単語をご存知で驚きました！  
(編集長 庄野雄輔)

あなたの、かかりつけ薬局。

地域とともにくすり屋 107年  
ミズ・溝上薬局

http://www.miz-pharmacy.co.jp/ ミズ 検索

人とまちをつなぐ新聞

# 街なかかわらばん

TAKE FREE  
さが

2017.7.15号  
no.26  
Machinaka Kawaraban

街なかのおすすめ賃貸情報更新中!  
www.kawaraban-web.com

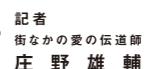


## 街なか × インターナショナル

都会すぎず田舎すぎない街、佐賀。最近は街なかで「国際色」を感じる場面が増えてきました。例えば白山には佐賀県国際交流プラザ、松原にはヒューマンアカデミー日本語学校があるだけでなく、街を見渡せば外国語講座や多文化共生を掲げる団体、世界を股にかけて活動するNGOなどもあります。またイタリアやスペイン、フランスなど外國文化を発信する店も増えてきましたし、最近新たに誕生した佐賀初のゲストハウスも今後の期待大です。もちろん一言で「国際色」と言っても様々な見方や切り口がありますが、ぐっと街に深みがでてきそうです。

### 01 “毎日街なかに通う外国人学生”の、リアルな日常

ヒューマンアカデミー日本語学校 佐賀校



記者  
街なかの愛の伝道師  
庄野 雄輔

佐賀市松原に開校して3年目に入った、ヒューマンアカデミー日本語学校。ここでは技能実習や大学進学のために、約80名の学生が毎日街なかに通って日本語を勉強しています。ただ街で彼らの姿を見かけることはあっても、日々の生活はマイチ謎。そこで今回は日本での思い出や印象深い実体験などをインタビューしてみました。  
※本文中の単語・言い回しについては、一部を除き学生達の日本語をそのまま使用しています。

#### Q なぜ日本に来ようと思ったのですか？

マヌラ 日本は安心・安全、そして日本人は世界的にも優しいというイメージが強く、日本への留学だと家族が安心してくれたからです。将来はスリランカと日本のブリッジ（架け橋）になる会社、お店を開きたいです。

オウ 日本に来たのは、日本のテレビや歌がきっかけです。あと日本語だけでなく、日本のお店のサービスや挨拶にも感動したので是非勉強していきたいと思います。

カルカ 自分も日本が安全だから、日本人が優しいからというのが選んだポイントです。あまり人や国の悪い面は考えない性格なので（笑）。

#### Q 日本に来て困ったエピソードはありますか？

マヌラ 初めて日本に来た次の日、近所を散歩していました。すると道に迷い二時間くらいウロウロ。地図は持っていたのですが漢字ばかりで全く読めず、近くに英語ができる人もいなかったので困りました。あと地震には驚きました。スリランカでは一度も経験したことがなかったのですが、なんと日本に来て8日目で熊本地震に遭いました。その時は「何が起つた？これが地震？あれ、どうして日本に来てしまったのだろう…、帰りたい…」とパニック状態に。でもその後「もしまた地震が起きたらどういう行動をしたらいいか？」を先生達に教えていただいたので安心でした。そういうえばカルカさんは、たまたま熊本地震が起きた日に日本に来たんですよね？

カルカ はい、そうです。本当にびっくりしました…。ただネパールも地震が多い国なので、マヌラさんよりは平気だったと思います。私が困ったエピソードは、日本で初めてスーパーで買い物をしたときのこと。オイル（油）を買ったつもりでしたが、使ってみるとス威ト（甘い）！その時は日本語を全く話せなかったですし、文字も読めなかったので、同じネパールの先輩に「これは何ですか？」と電話で聞きました。そこで帰ってきた答えは…『みりん、sweet sake』でした（笑）。

オウ 私は今でも自転車用横断道の渡り方がよくわかりません。歩行者と自転車のボーダー（境目）がわかりづらく、危ないと思います。あと泥棒に遭ったのも辛かったです。買い物の帰りにコンビニに寄ったとき、荷物を自転車のカゴに入れたまま戻ったら盗られました…。財布は大丈夫だったのですが、ショックでした。あ、そうそう、それと毎日の朝ごはんにも困ります。台湾では朝は外で食べるが普通なので。

#### Q 学校の近くに住んでいるのですか？

マヌラ 私は佐賀駅の近くに住んでいます。初めて来たときは、いつも『佐賀無理!!』と言っていましたが（笑）、今はとても住みやすいです。私は佐賀の学校初のスリランカ出身。寂しさもあって最初はとにかく「佐賀には何も無い」と強く思っていたので、何度も東京や大阪の学校への変更をお願いしていました。でも今は佐賀が大好きです。たくさんの友達もできましたし、卒業後に大学か専門学校に進むときも、このまま佐賀に住もうと思っています。また東京の多くの人の移動は電車。佐賀は自転車。東京は忙しそう。佐賀はのんびり。それも佐賀が好きになった点です。あと佐賀には「お母さん」と呼べるような人もできましたが、たぶん東京だとそんな人はできなかったと思います。

日本語学校学生×街なか



左／オウさん (26) 2016年10月に来日。元々日本カルチャーに興味があり、旅行で何度か日本を訪れたことがきっかけで入学することに。

中央／マヌラさん (26) 2016年4月6日に来日。最初は佐賀そして日本が大嫌いで『佐賀無理』が口癖だったが、今や熱烈な『アイ love 佐賀』に。

右／カルカさん (28) 2016年4月14日に来日。その同じ日に熊本地震が発生し日本に対して不安いっぱいのスタートだったが…。

#### Q 皆さんが出た学校は佐賀の街なかにありますか？

マヌラ イベントは大好きです！秋はライトファンタジーのパレードに学校のみんなで参加しました。バーナーの炎は熱いけど楽しかったですし、バルーンフェスタで多くの外国人が街にやってくるのもいいですね。あと夏に学校近くの公園で見た花火や、着物を着た日本の女の子は綺麗でした（笑）。

#### Q 最後に。佐賀の街なかがこういう風になればいいなあっていう思いはありますか？

マヌラ&カルカ 街のサインボード（案内看板）にもっと英語を増やしたほうがいいと思います。まだまだ佐賀は少ないです。私が二時間迷ってしまったように、初めて日本に来る外国人は困るんです。あとシティオフィス（市役所）に外国語対応のできる人が増えると助かります。手続きだけでも大変なのに、日本語だけだともっと困るんです…。それとこれから佐賀についてですが、都会を目指さないで欲しいです。静かな場所も賑やかな場所も、行きたいときは自由に自転車で移動できます。それが佐賀の良いところだと思います！

オウ 日本は看板に漢字が多いので、台湾人の私にとっては旅行でも安心でした。私の地元も佐賀と同じで静かな街、佐賀もその良さを大事にしてほしいと思います。

#### [INFORMATION]

ヒューマンアカデミー日本語学校 佐賀校 ☎0952-27-7270 ●佐賀市松原 2-2-27 バルーンミュージアム 4F  
●HP http://hajl.athuman.com/access/saga.php

#### 学校より Message



弊校が佐賀市に開校して3年目。文化や生活習慣の違いに戸惑う学生たちですが、地域の皆様のご協力によって佐賀での生活の心得を身に着けられるようになりました。初めての卒業生が佐賀県内をはじめ日本国内外で進学されたのも、地域の皆様のおかげと感謝申し上げます。これからも学生たちが身近な国際交流を行っていければと考えております。（事務局長 松尾さん）